

2023年度 光塩女子学院中等科 【第3回】

## 社会入試問題

2023年2月4日(土)実施

### 《注意事項》

- ① 試験開始の合図があるまで、この問題用紙の中を見てはいけません。
- ② 解答用紙に、受験番号と氏名を書きなさい。
- ③ 解答は、解答用紙に書きなさい。
- ④ 問題は、7ページまであります。

次の文章を読んで、以下の問い合わせに答えなさい。

日本では1 成人や2 就職などの節目に自分の「はんこ」をつくる人が多いようです。正式にははんこを「印章」とよびます。その歴史は古く、3 世界最古の文明ともいわれる中東のメソポタミア文明にまでさかのぼります。品物の束や容器などをとじる際に、4 ねん土でふうをしてさらにしるしをつけるために使われました。その後、5 古代中国に伝わり、6 秦の時代に皇帝の印章が「皇帝璽」として定められ、権力の象徴になりました。中国の皇帝は7 異民族の王たちに官位と印章をあたえて、8 皇帝を頂点とするしくみに組み入れました。このことがきっかけで日本でも印章の歴史が始まります。

まず9 大宝律令を制定したころから主に役所で印章を使用しました。やがて10 律令制が実体を失うと、11 平安時代から室町時代には12 個人の署名を図案化した「花押」が印章よりも多用されました。しかし、13 花押は偽造※されやすかったため、戦国の世では、14 戦国大名が花押とともに印章を使い始めました。民衆まで広く印章を使うようになるのは江戸時代からです。15 農民や町人を組織化して帳面に記録し、戸主が印章をおして名主に保管させるしくみがあったようです。明治政府は、江戸時代の慣例を整備し、法令に基づく16 印鑑登録制度を成立させました。

このように日本では長い歴史のある印章=はんこですが、2020年から新型コロナウイルス感染症が感染拡大と縮小の波をくり返す中で、17 「在宅勤務」する人々の間から18 「脱はんこ」の声が上がり、政府も関心をよせました。一方で、19 印章の出荷額が多い都道府県では急な方針転換を不安視する声も出了ました。コンビニエンスストアや100円均一販売店、20 インターネット通信販売でも気軽に入手できる一本のはんこが、日本社会の変化を表しているといえるのです。

※ 本物にせてつくること。

問1 下線部1について、2022年に成年年齢が18歳に引き下げられました。18歳で「できること」と「できないこと」を述べた以下の文のうち、あやまりがあるものを一つ選び、記号で答えなさい。

- あ 男女とも結婚することができる。
- い 国政選挙と地方選挙で投票できる。
- う 親が同意しても携帯電話を契約できない。
- え 飲酒やたばこをすることはできない。

問2 下線部2について、日本国憲法第27条を引用します（一部現代かなづかいに改めています）。これについて（1）と（2）に答えなさい。なお、同じ記号には同じ語が入るものとします。

1項 すべて国民は、（ A ）の権利を有し、義務を負う。

2項 賃金、就業時間、休息その他の（ A ）条件に関する基準は、法律でこれを定める。

3項 B児童は、これを酷使※ してはならない。

※ ひどくこき使うこと。

（1）空らんAには「つとめにはげむこと」を意味する語が入ります。漢字2字で答えなさい。

（2）波線部Bの「児童」を酷使してはならない理由を一つ挙げて述べなさい。

問3 下線部3について、（1）と（2）に答えなさい。

（1）メソポタミア文明の起源は紀元前3500年から3000年ころです。今からおよそ何年前でしょうか。解答用紙の指示に従って答えなさい。

（2）以下の地図は、メソポタミア文明をふくむ「世界四大文明」が大きな河川の流域で栄えたことを示しています。多くの人々が豊かに生活できた理由を考えて述べなさい。



問4 下線部4について、(1)と(2)に答えなさい。

(1) 以下に挙げるもののうち、「ねん土」が原料にふくまれないものを一つ選び、記号で答えなさい。

あ かわら い れんが う せともの え ふすま

(2) ねん土でふうをして、さらにしるしをつける理由として最も適さないものを一つ選び、記号で答えなさい。

- あ ふうをした人をはっきり示すため。
- い 持ち主などを明らかにするため。
- う だれにでも開けやすくするため。
- え 中身を知られないようにするため。

問5 下線部5について、当時、イタリアのローマから中国の都までをつなぐ交通路がありました。この交通路の一般的な名称を一つ選び、記号で答えなさい。

あ 万里の長城 い 絹の道 う 東海道五十三次 え 大陸横断鉄道

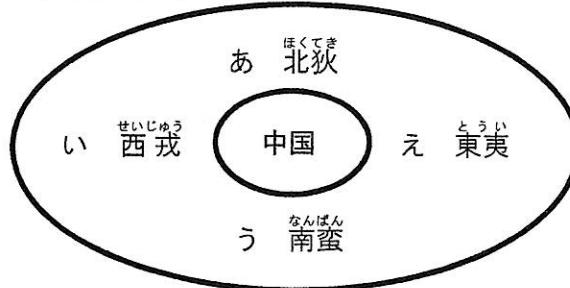
問6 下線部6より後の、中国の主な王朝を以下に挙げました。これらの王朝を成立した年代の早い順に記号で並べかえなさい。

あ 清 い 隋 う 明 え 唐

問7 下線部7について、異民族の王は、中国に正式に使いを送る際にこの印章を使わなければなりませんでした。このことに関して述べた文としてあやまりのあるものを一つ選び、記号で答えなさい。

- あ 邪馬台国の卑弥呼は、中国の皇帝から金印や銅鏡を受けられた。
- い 中国の皇帝は、足利義満に印章をあたえて正式な貿易をゆるした。
- う 室町幕府がおとろえると、山口の戦国大名大内氏が印章を用いて交易した。
- え 徳川家康は、中国の皇帝から征夷大将軍の位と印章をあたえられた。

問8 下線部8を以下に図示しました。中国は世界の中心で、周辺の民族は中国の進んだ文明にあこがれて訪れる、という思想を表しています。このについて、(1)と(2)に答えなさい。



(1) この図の中で、日本がふくまれる地域を一つ選び、記号で答えなさい。

(2) 16世紀の日本でも、未知の民族を「南蛮人」とよびました。この「南蛮」にあてはまる国名を一つ選び、記号で答えなさい。

あ ロシア い アメリカ う ポルトガル え オーストラリア

問9 下線部9は「701年」です。何世紀の初めになるかを答えなさい。

問10 下線部10に関連して、資料1は周防国（現在の山口県）に残る908年の戸籍の記録、資料2は律令制における税負担などに関する主なきまりです。これらの資料を見て、(1)と(2)に答えなさい。

資料1

	男性（人）	女性（人）
66歳以上	15	88
61~65歳	10	15
21~60歳	57	131
17~20歳	0	1
16歳以下	4	0
合計	86	235

資料2

- ・口分田は6歳以上の男女に支給される。
- ・口分田の面積に応じて租を負担する。
- ・17~65歳の男性が庸・調などを負担する。
- ・17~60歳の男性が兵役につく。

(1) 兵役につかなくてよい男性の人数を答えなさい。

(2) この戸籍の不自然な点を指できし、そうなった背景を考えて述べなさい。

ただし、「男性」「女性」「口分田」の3語を必ず用いなさい。なお、語を使用する順序は問いません。

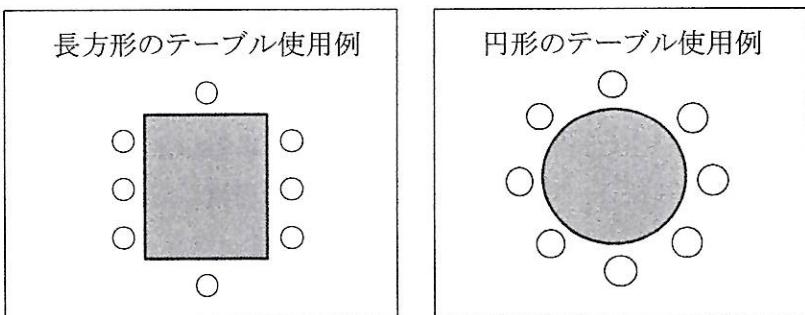
問 11 下線部 11 について、以下のことがらを年代の早い順に並べかえなさい。

- あ 藤原道長が摂政に、藤原頼通が閑白になった。
- い 足利義政が、京都の東山に山荘を築いた。
- う 後醍醐天皇が、建武の新政を開始した。
- え 後鳥羽上皇が、北条義時をうつ命令を出した。
- お 平清盛が、後白河法皇を御所にとじこめた。

問 12 下線部 12 は署名代わりの<sup>ふたさう</sup>ことで、毛筆で記しました。現在でも、「閣議」では花押を書くならわしが続いている。このことについて（1）と（2）に答えなさい。

（1）「閣議」は内閣の会議を指します。内閣総理大臣が閣議の議長を務めます。  
日本の内閣総理大臣の氏名を答えなさい（2022年12月現在）。

（2）一般的に対面で会議を開くときは長方形のテーブルを使用することが多いようですが、閣議は円形のテーブルを使用します。以下の長方形と円形のテーブル使用例の図を見ながら、長方形のテーブルよりも円形のテーブルを使用するとの利点として最もふさわしいものを一つ選び、記号で答えなさい。  
なお、テーブルの大きさは等しいものとします。



- あ 長方形の方が、円形よりも確実に多くの人が出席できる。
- い 長方形の方が、円形よりも軽くて持ち運びしやすい。
- う 円形の方が、長方形よりも席順にこだわらなくてよい。
- え 円形の方が、長方形よりも密になる状態をさけられる。

問 13 下線部 13 の理由で、現代の日本でも、財産相続を言い残す書類に本人が花押を書いても印鑑の代わりにはならない、との判決を最高裁判所が下しています。裁判所について述べた以下の文の中であやまりがあるものを一つ選び、記号で答えなさい。

- あ 日本では、同じ裁判所で連續して3回まで裁判が受けられる。
- い 民事裁判では、貸したお金を返してもらえないなどのもめ事を裁く。
- う <sup>きょうあく</sup>重大犯罪は、国民から選ばれた裁判員が参加する制度で裁かれる。
- え 最高裁判所長官は、内閣が指名して天皇が任命する。

問 14 下線部 14 にあてはまらない人物名を一つ選び、記号で答えなさい。

- あ 上杉謙信
- い 武田信玄
- う 織田信長
- え 源頼朝

問 15 下線部 15 の名称として最もふさわしいものを一つ選び、記号で答えなさい。

- あ <sup>とぎりぶみ</sup>隣組
- い 五人組
- う 寺子屋
- え 一揆

問 16 下線部 16 は、所有している印鑑を地方公共団体の役所に登録する制度です。以下のうち、地方公共団体の仕事ではないものを一つ選び、記号で答えなさい。

- あ ごみの収集と処理
- い 公立小中学校の設置
- う 警察や消防、救命救急
- え 自衛隊の管理

問 17 下線部 17 に直接関連しない語を一つ選び、記号で答えなさい。

- あ リモート
- い ジェイアラート
- う テレワーク
- え オンライン

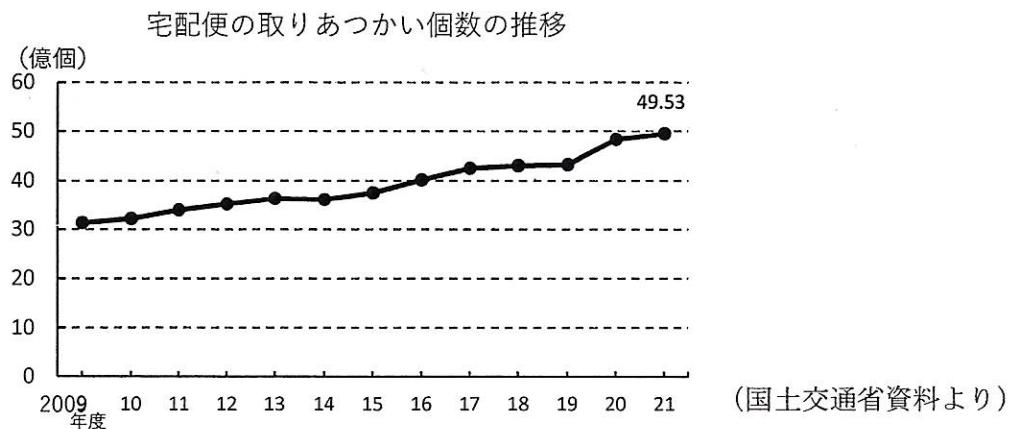
問 18 下線部 18 の利点として最も適するものを一つ選び、記号で答えなさい。

- あ 印章をおしてもらうための待ち時間が短縮され、他の仕事に回せる。
- い 印章の代わりに書類に署名してすべての取引や契約、買い物ができる。
- う 印章をおすための書類を大量に発行するので、日本の景気が良くなる。
- え 印章をふん失する心配がなくなるので、銀行や郵便局が不要になる。

問 19 下線部 19 に関する以下の説明を読み、最も適する都道府県名と県庁所在地名をそれぞれ答えなさい。

- ・ かつては「おわりの国」があった。
- ・ 中京工業地帯の中心である。
- ・ 知多半島や渥美半島がある。

問 20 下線部 20 に関する以下のグラフを見て、(1) と (2) に答えなさい。



(1) 上のグラフから、2021 年度の 1 年間に日本国民 1 人が受け取ったと考えられる宅配便のおよその個数を、式を立てて求め、整数で答えなさい。

(2) 「置き配」というサービスを提供する宅配便業者もあります。このサービスは対面での受け取りをさけ、新型コロナウイルス感染症の感染者を増やさないようにする利点があります。この利点のほかに、「置き配」のサービスが  
①宅配便を受け取る人にもたらす利点と、②宅配便業者にもたらす利点を一つずつ挙げて述べなさい。